

霊から生まれる

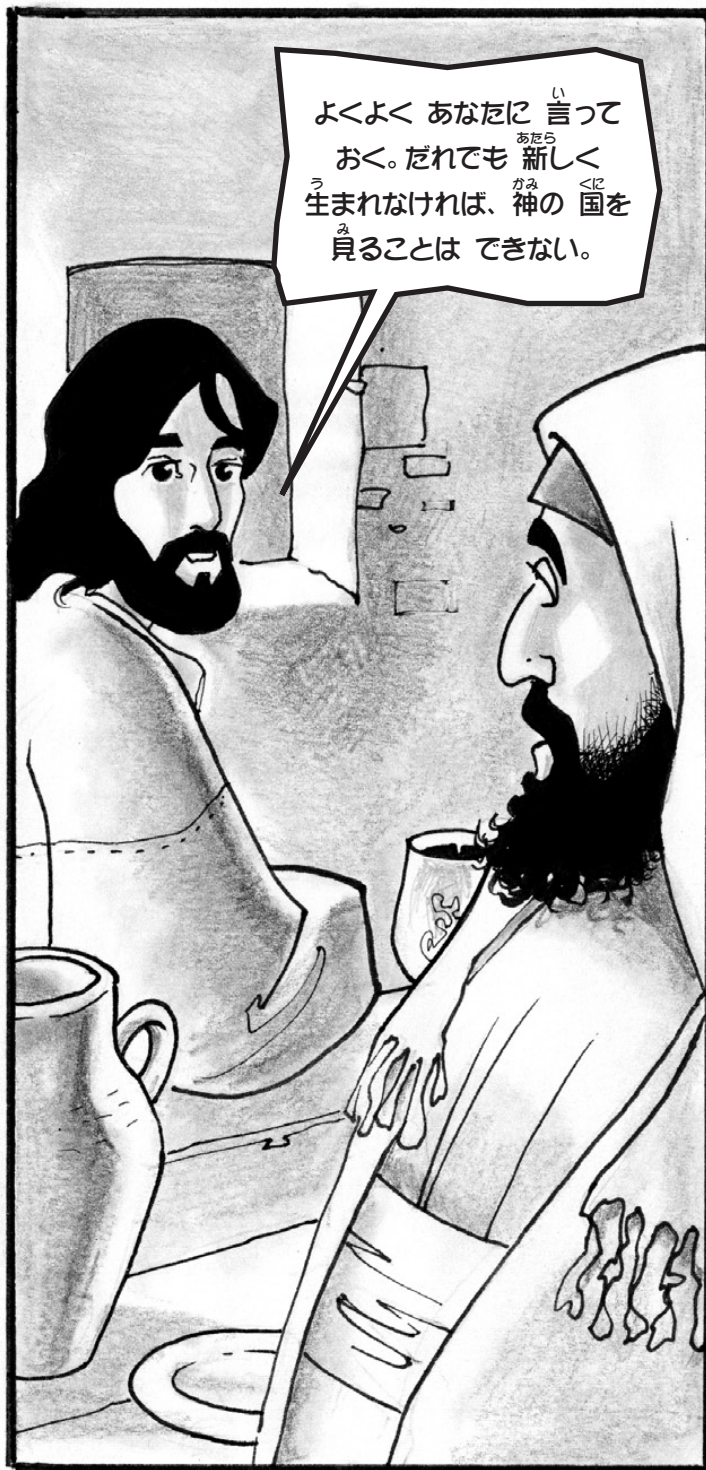
(ヨハネによる 福音書、第3章 1-8節)



この人が夜
イエスのもとに
きて言った、

?





よくよく あなたに ^い 言って
おく。だれでも ^{あたら} 新しく
生まれなければ、神の ^{かみ} 国を
^{くに} 見ることは ^み できない。



^{ひと} 人は ^{とし} 年を ^と ってから
^う 生まれることが、どうして
できますか。もう一度、母の ^{いは} 胎に
^{はい} 入って ^う 生まれることが
できましようか。



どうかしたの、
ニツク？

な、^{なん} 何でも ^な ないよ、
^{かあ} 母さん。ちよつと ^{かんが} 考え事
してただけだよ。

よくよく あなたに ^い 言うておく。
だれでも、水と ^{れい} 霊とから
生まれなければ、神の ^{くに} 国に
入ることは ^{はい} できない。

^{にく} 肉から ^う 生まれる ^{もの} 者は ^{にく} 肉であり、

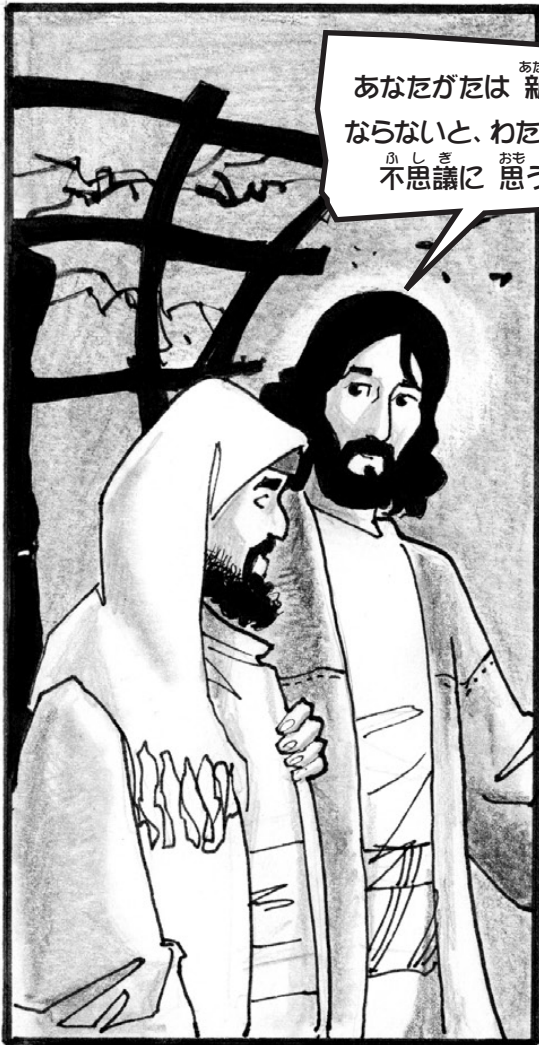
^め 目が ^{ははおや} 母親と ^{ぞっくり} だ。

^け 髪の毛は、
^{とう} お父さん
^{ぞっくり} ね!

^{れい} 霊から ^う 生まれる ^{もの} 者は ^{れい} 霊である。

^{てん} 天の ^{ちち} 父よ、
あなたの ^{あい} 愛の ^{もの} おくり物を
^{かんじや} 感謝します!



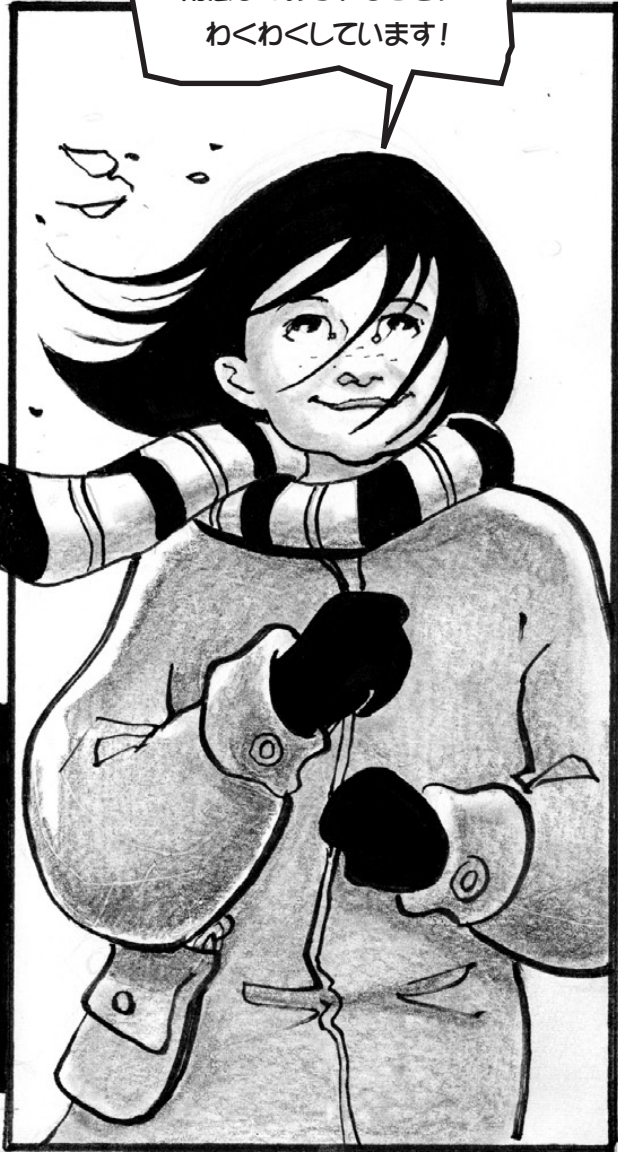


あなたがたは ^{あたら}新しく ^う生まれなければ
ならないと、わたしが ^い言ったからとて、
^{ふし}不思議に ^{おも}思うには およばない。



^{かぜ}風は ^{おも}思いのままに ^ふく。あなたは
^{おと}その音を ^き聞くが、それが ^{どこ}どこから ^き来て、
^{どこ}どこへ ^い行くかは ^{しら}知らない。

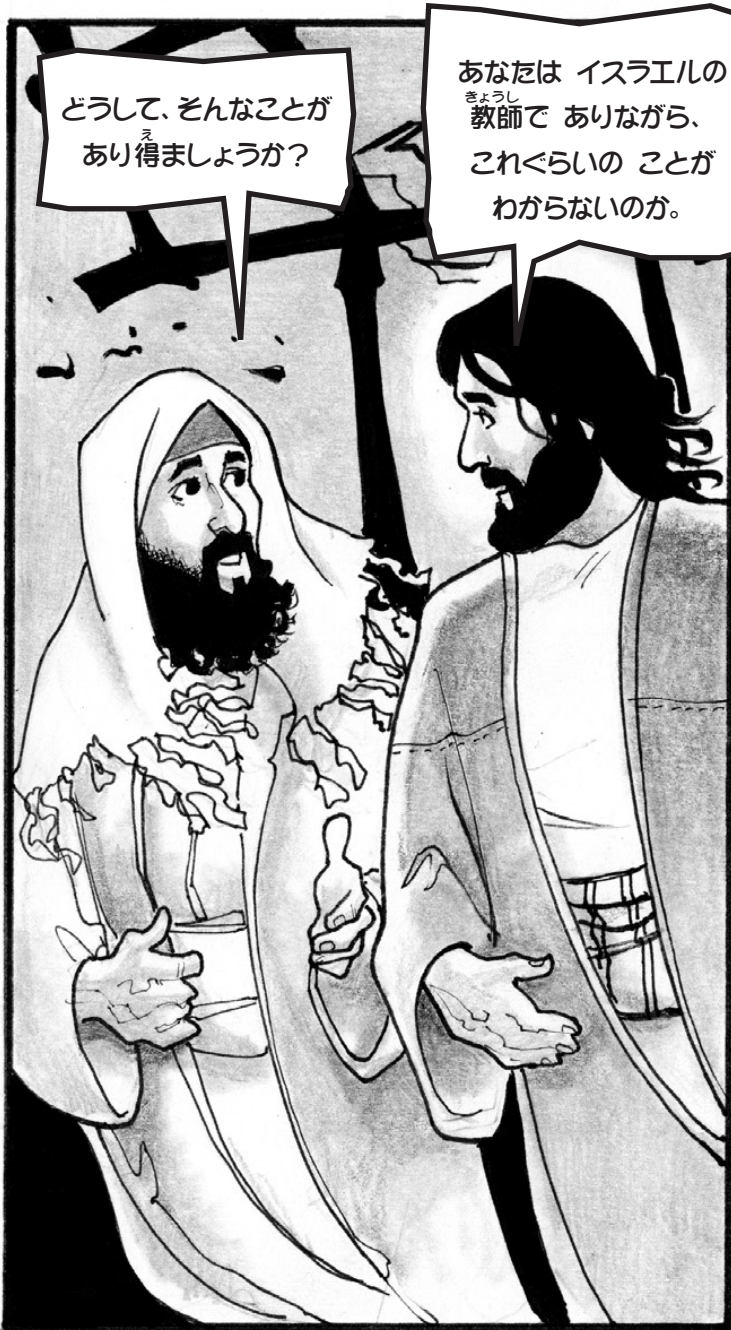
^{れい}霊から ^う生まれる ^{もの}者も ^{みな}みな、
それと ^{おな}同じである。



イエス様、^{さま}今日 ^{きょう}
あなたが ^{わたし}わたしの ^{ため}ために
^{よう}用意しておられる ^{こと}ことに、
わくわくしています！

かみ 神は その ひとり子を たまわった

ふくいんしょ だいしやう
(ヨハネによる 福音書 第3章
せつ せつ だいしやう せつ
9-10節, 14-17節, 第5章 24節)



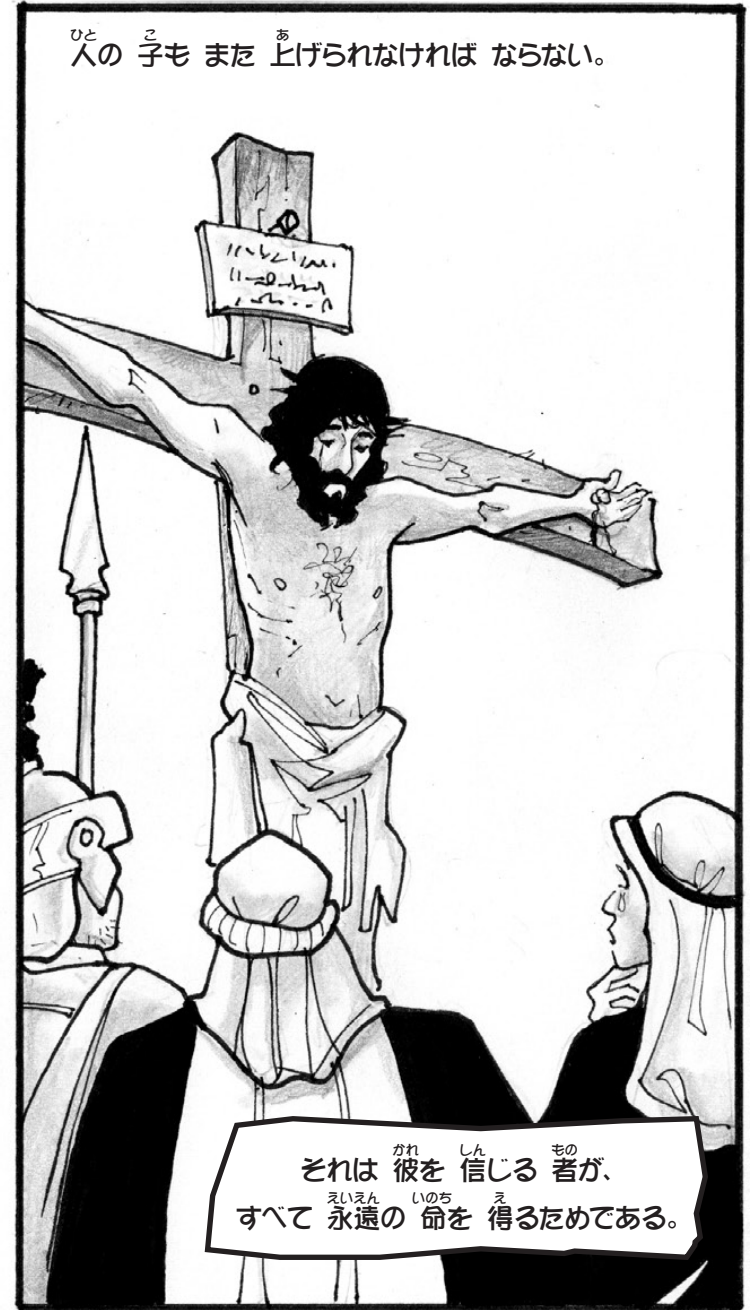
どうして、そんなことが
あり得ましようか？

あなたは イスラエルの
きやうし 教師で ありながら、
これぐらいの ことが
わからないのが。

モーセが ^{あらの}荒野で
へびを ^あ上げたように、



すべての ^{もの}がまれた 者が
これを ^み見るならば、
生きるであらう！



ひと ^この ^ま子も ^あまた ^あ上げられなければ ならない。

それは ^{かれ}彼を ^{しん}信じる 者が、
すべて ^{えいえん}永遠の ^{いのち}命を ^え得るためである。

かみ 神は その ひとり子^こを たまわつたほどに、この世を 愛^{あい}して下^{くだ}さつた。それは み子^こを 信^{しん}じる 者^{もの}が 一人も 滅^{ほろ}びないで、永^{えい}遠^{えん}の 命^{いのち}を 得^えるためである。



むすこ
息子よ、
い
行きなさい。
ほうほう
これしか方法が
ないのだ。

わ
分かっています、父よ。



かみ
神が み子^こを 世^よに つかわされたのは、世^よを さばくためではなく、
み子^こによって、この世^よが 救^{すく}われるためである。

わたしの ことば
言葉を 聞いて、
わたしを つかわされた かげを
信^{しん}じる 者^{もの}は、

えいえん いのち う
永遠の 命を受け、
また さばかれることが なく、
死^しから 命^{いのち}に うつ
移^{うつ}っているのである。